

## 第3回

# 黒磯地区交流拠点づくり構想策定検討委員会

### 目次

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1. まちづくりの基本方針について     | P. 1～2 |
| 2. 導入機能及び施設構成等の検討について | P. 3～5 |
| 3. 土地利用計画の検討について      | P. 6   |

平成29年9月27日（水）

# 1. まちづくり構想の基本方針について

## (1) まちづくりの将来像に向けたキーワードの整理

これまでに整理された導入機能の方針から、まちづくりの将来像に向けたキーワードを整理します。

### 課題の整理

#### 【子育て支援に関する課題】

- 「子育て支援サービス」や「相談体制」の充実を図り、安心して子供を産み育てることができる環境や、働きながら子育てしやすい環境づくり
- 自然環境を活かした「遊び場」や「公園」など、家族や家族同士のコミュニケーションが図れる「交流の場」の充実

#### 【高齢者福祉に関する課題】

- 高齢者や介護者を対象とした「相談窓口」の充実により、専門的、継続的な相談支援や、高齢者福祉サービス等の情報や介護等に関する正しい知識の「情報提供」が受けられる体制づくり
- 元気高齢者を支援し、健康維持・増進のための「健康リハビリ」機能の充実や、「ボランティア活動」や「生きがづくり」などの活動推進

#### 【障害者福祉に関する課題】

- 障害者への「相談支援」体制の充実を図り、適切なサービスの提供が受けられる体制の強化
- 障害者の方の自立を支援するため「リハビリができる」機能の充実や、サークル活動やスポーツ活動などを通じた「生きがづくり」の活動推進

#### 【地域福祉に関する課題】

- 地域福祉を推進するため、「研修施設」や「ボランティア活動」などの活動拠点

#### 【交流に関する課題】

- 豊かな自然環境での癒やしや安らぎを求め、多くの市民が寄り集う「交流の場」の確保
- 集会やイベントなど、多くの市民や米軍関係者との「交流の場」の確保

#### 【健康づくりに関する課題】

- 健康づくりのために、誰もが気軽に「運動やスポーツに親しめる環境」の確保
- 生活習慣の改善や、健康づくりに関する正しい知識を身につける「相談機能」の充実と、市民健康意識の向上推進

### 導入機能の方針

#### 子ども・子育て支援分野

- ・働きながら子育てしやすい環境づくりを推進する機能
- ・親子や家族で楽しく遊べ、学習できる環境づくり

#### 高齢者福祉分野

- ・相談体制や情報提供の充実により高齢者や介護者の不安や負担を軽減する機能
- ・高齢者の生きがいや健康づくりを推進する機能

#### 障害者福祉分野

- ・障害者に対する理解促進の啓発や相談支援により適切なサービスを提供する機能
- ・障害者の健康と自立を支援する機能

#### 交流分野

- ・自然とのふれあいでだれもが憩い・集える交流や安らぎの場
- ・イベント交流や日米交流の活性化を推進する機能

#### 健康づくり分野

- ・スポーツや運動を通じた健康づくり・交流を促進する機能
- ・生活習慣病の改善や食育などに関する相談ができる機能

#### 地域コミュニティ分野

- ・各機能を融合させる企画運営、担い手の活動や育成を支援する機能
- ・計画地や周辺地域との連携が可能な交流事業・医療施設
- ・ボランティア活動を推進する機能

### まちづくりの将来像に向けたキーワード

地域支援・ボランティア活動の推進

子育て・教育環境の充実

包括的な相談支援体制の構築

健康・生きがづくりの推進

つながり・世代間交流

## (2) まちづくりの将来像

岩国市の人口は減少傾向にあるなか、少子高齢化に伴う世帯の少人数化がさらに進み、地域での人と人とのつながりが弱まることや、孤立世帯が生じることが懸念されています。

また、医療・福祉の担い手不足は深刻化し、人材の育成・確保が課題となっており、このような社会構造の変化に対応すべく、高齢者等に限らず、地域で支援を必要とする方々への地域福祉の構築を深化させていくことが重要であると考えます。

岩国市が将来にわたって活力あるまちであり続けるためには、誰もがいつまでも住み慣れた地域で、いきいきと暮らせる環境の実現を目指していくとともに、これからの岩国市を支える子育て世代や子ども達のために、安心して子どもを育てることができる環境の充実が必要となっています。

そのため、多くの市民が「生きがい」に満ちあふれた生活を送るための環境や、包括的な支援体制の充実を図り、介護者等を含めた「不安や負担の軽減」、「安心の提供」を行い、将来を担う子どもたちの「遊び・学び場」としての環境や、誰もが安心して「子育てができる環境づくり」への取り組みを推進し、「世代を超えたつながりや交流」を育み、児童や若い世代をはじめ、多くの市民の「福祉・ボランティア人材の育成」の場を創出します。

本まちづくりの将来像は、多くの世代の融合により市民一人ひとりの健康と生きがいを創出するとともに、市民と米軍人やその家族との交流や絆を生み、共に支えあう助け合いのまちを目指して、以下のとおり掲げます。

## ～ 誰もが支えあう地域支援と交流のまち ～

## (3) まちづくりの将来像を支える基本理念

『誰もが支えあう地域支援と交流のまち』の実現にあたっては、市民一人ひとりが生きがいに満ちあふれ、住み慣れた地域で自立しながら共に助け合って生活することができる環境が必要です。

そのためには、「健康でいきいきと暮らしていく」ことが重要であり、心身共に健康に過ごすために、多くの人と交流しながら「憩い・リフレッシュ」できる場所が求められます。また、岩国市のこれからのを担う「人材の育成」と、「活力あふれる地域社会」への発展のために、「安心して子育てできる環境」と、子ども達が「健やかに成長できる環境」を整備することが重要です。

そこで、『誰もが支えあう地域支援と交流のまち』の実現に向けて、4つの基本理念を掲げます。

### 『誰もが支えあう地域支援と交流のまち』の実現に向けた4つの基本理念

#### ●生きがい・自立・共生の場づくり

- 高齢者や障害者の方が、社会の一員として活躍できる場所を創出します。
- 関係機関との総合的な調整により、包括的な相談支援に取り組む場所を創出します。
- 災害ボランティアをはじめ、様々なボランティアの活動を支援する場所を創出します。

#### ●遊び・学び・育てる場づくり

- 子どもの成長段階に応じた遊びや学習の場を提供し親子や子育て家庭同士のふれあいの場所を創出します。
- 交流や体験などを通じて、誰もが子育て力を高められる場所を創出します。
- 子どもや若い世代をはじめ、福祉・ボランティア人材を育成する場所を創出します。

#### ●憩い・安らぐ・交流の場づくり

- 海への眺望に優れた雑壇状の形状を活かし、自然とふれあう憩い・安らぎの場を創出します。
- 市民と米軍人やその家族が、活発な交流を行い、友情や絆が生まれるシンボリックな場所を創出します。
- 世代を超えた様々なイベントや催しが開催できる交流の場を創出します。

#### ●いきいき・健康の場づくり

- 自身の健康について相談ができ、安心して医療サービスが受けられる場所を創出します。
- 誰もが身近に運動やスポーツに親しめる場所を創出します。
- 高齢者をはじめ、多くの市民の健康維持・増進が適う場所を創出します。

## 2. 導入機能及び施設構成等の検討について

### (1) 基本理念の実現を目指すための具体的な活動イメージ

将来像の実現に向けた4つの「基本理念」に基づき、これまでに整理された市民の意向や課題を踏まえ、庁内福祉関係課や本市の関係既存施設へのヒアリング調査を実施し、市民や米軍人やその家族等の立場での「取り組むべき具体的活動」をイメージとして整理し、様々な場面における役割を「必要な場所」として下表にて抽出しました。

基本理念（目標）	取り組むべき具体的活動（イメージ）	必要な場所（役割）
1. <u>生きがい・自立・共生の場づくり</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方が、困りごとや心配ごとの相談にのってもらう。</li> <li>・支援の必要な高齢者の方が、必要とされるサービスの提供をスムーズに受けられるようサポートしてもらう。</li> </ul>	1-①高齢者への安心提供の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リラックスできる場所で、介護者や家族の方が身体的、精神的な疲れを癒やし、リフレッシュをする。</li> <li>・介護者間での悩みや有益な情報などが共有できる家族会や父母の会などに参加する。</li> <li>・介護保険サービスや先進医療などの有益な情報提供を受ける。</li> <li>・障害者サービスの情報や、補装具・日常生活用具などの展示により有益な情報提供を受ける。</li> </ul>	1-②介護者や家族の負担軽減の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動などを通じて交流を深め、高齢者の方の生きがいづくりやリフレッシュを行う。</li> <li>・「元気高齢者」の健康維持・増進を図るために室内で軽運動や体操をする。</li> <li>・有能な技術や経験を持つ高齢者が、中高生や米軍人家族の児童を対象に職業体験や技能習得のための講習会を開催する。</li> <li>・高齢者の方が、小中学生や米軍人家族の児童を対象に、「昔あそび」や「伝統文化」などを教え、世代間交流を促進する。</li> </ul>	1-③高齢者の生きがいづくりの場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者（児）に関する悩みや困りごとなどの相談にのってもらう。</li> <li>・支援の必要な障害者（児）が、適用されるサービスをスムーズに受けられるようサポートしてもらう。</li> </ul>	1-④障害者（児）支援の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動やレクリエーション活動などの活動を通じて交流や親睦を深める。</li> <li>・障害者（児）が、室内で障害者スポーツ活動をする。（ブラインドテニス、ボッチャ競技など）</li> <li>・障害者の方が職業準備訓練や技能習得のための実習などが受けられる。</li> </ul>	1-⑤障害者（児）の自立を支援する場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の困窮や金銭管理など、日常での不安や心配ごとの相談にのってもらう</li> <li>・異文化等に関する困りごとなど、米軍人やその家族等の相談に対応し、有益な情報提供が受けられる。</li> </ul>	1-⑥生活相談の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での活動において中心的な人材を育てるための研修会や養成講座などを受講する。</li> <li>・介護予防サポーターやボランティアリーダーなどの養成講座を受講する。</li> <li>・災害ボランティアや福祉ボランティアなどの研修会や交流会に参加しボランティア活動の役割や重要性を認識する。</li> <li>・小中学生や高校生等の若年層が、介護やボランティアに関する知識や技術などを学び、役割や重要性を認識する。</li> <li>・将来等を見据え、在宅介護に関する知識や技術などの講義・実習などを受講する。</li> <li>・米軍人やその家族等のボランティア活動をPRするとともに、日米交流会等を開催し、日米での共同活動を促進する。</li> </ul>	1-⑦福祉・ボランティア人材育成の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンターを設置し、米軍人やその家族や多くのボランティアを受け入れ、敏速に効率よく活動を行う。</li> <li>・ボランティアコーナーによりボランティア活動の紹介や募集の情報など、情報提供が受けられる。</li> </ul>	1-⑧ボランティア活動を支援する場

基本理念（目標）	取組むべき具体的活動（イメージ）	必要な場所（役割）
<b>2. 遊び・学び・育てる場づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児不安等の相談にのってもらう。</li> <li>・子育て親子の疾病予防や健康の増進のため、保健師などに相談できる。</li> </ul>	2-①子育て等に関する相談の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て親子のニーズに沿った地域の保育資源など、子育て支援に関するあらゆる情報が手に入る。</li> <li>・子育てに関する講習会などを開催し、日米合同での子育てサークルやボランティア育成のための講習会を受講する。</li> </ul>	2-②子育てに関する学習の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父親（夫を含む）を対象とした子育て（イクメン）講座や調理教室に参加する。</li> <li>・父親と子どもを対象とした参加型イベントや、祖父母を対象とした子育て講座などに参加する。</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーの受講や関連情報の提供を受ける。</li> </ul>	2-③イクメン・祖父母等の子育て支援の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て親子や米軍人やその家族が室内で安心して遊び、お弁当を食べることができる。</li> <li>・小学生が、園庭の大型遊具やフィールドアスレチックなどでのびのびと遊ぶ。</li> <li>・中学生や高校生がスリーオンスリーやフットサルなどの遊びや運動を楽しむ。</li> <li>・子育て親子や米軍人等の親子が絵本の読み聞かせや、紙芝居、人形劇などを楽しむ。</li> <li>・米軍人家族の児童が参加できる体験型イベントを開催し、家族や地域の児童とのふれあいができる。 (もちつき大会・ハロウィンイベントなど)</li> </ul>	2-④子どもの遊び・ふれあいの場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て親子や米軍人やその家族等親子が工作などを製作して楽しみ、日米合同作品展などを開催する。</li> <li>・小・中学生が実験や観察など「実体験」を通じて、ものづくりや科学に対する興味や好奇心を育む。</li> <li>・小・中学生が竹細工やしめ縄など、昔ながらの伝統文化を体験できる。</li> <li>・小・中学生や米軍人家族の児童がパネルタッチ式の学習や、シミュレーションによる機械の操縦などの体験ができる。</li> <li>・小・中学生が気象、生物（動植物）、化学、地学、絵画などの教室や自主研究の指導を受ける。</li> <li>・小・中学生が職業体験型プログラムにより、仕事の大切さ・大変さを認識し、社会の仕組みを学ぶ。</li> </ul>	2-⑤子どもの体験・学びの場
<b>3. 憩い・安らぐ・交流の場づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米軍人やその家族等を対象とした料理教室などを開催し、日本の食文化や郷土料理に親しむ。</li> <li>・様々なイベントや催しができるホールにおいて音楽や伝統芸能などの発表・鑑賞により交流を楽しむ。</li> <li>・米国との異文化をより深く理解するため、ネイティブスピーカーと英会話を楽しみ交流を楽しむ。</li> <li>・施設内の案内板やサインなどに英語等の標記を取り入れ、交流しやすい環境の整備や利便性の向上を図る。</li> </ul>	3-①文化を通じた交流の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海が見渡せる屋外において、バーベキューパーティーや花見など米軍人やその家族等との食文化の交流を楽しむ。</li> <li>・海が見渡せるオープンスペースにおいて、四季折々の自然を楽しみながら、日米の文化を語り合い理解と親睦を深める。</li> </ul>	3-②自然のふれあいを通じた交流の場
<b>4. いきいき・健康の場づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の改善や食育などに関する相談や情報提供が受けられる。</li> <li>・体調不良時など、自身の健康状態や病状を把握している身近な「かかりつけ医」に受診する。</li> </ul>	4-①健康づくりの支援の場
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが気軽に室内でスポーツを楽しむ。(バドミントン・卓球・ソフトバレーなど)</li> <li>・誰もが気軽に屋外でスポーツを楽しむ(グラウンドゴルフ・サッカー・ウォーキング・ジョギングなど)</li> <li>・大人や高齢者向けの健康器具により身近な場所でストレッチやエクササイズができ、健康の維持、体力の向上ができる。</li> <li>・スポーツイベント等を通じて、高齢者と小中学生等が、世代を超えた交流を行う。</li> </ul>	4-②スポーツを通じた健康づくりの場

### (3) 施設構成の検討

基本理念（目標）の実現を目指すための具体的な活動イメージ等を踏まえると、施設の機能が各分野に横断的に関係しており、施設全体が有機的に連携し、幅広い世代の人々や団体が多様な形で利用できる施設構成が最良であると考えます。

そのため、以下に示す3つの施設を想定し、それぞれの特色を持った複合施設を整備することが望ましいと考えます。

#### ア 福祉交流施設

「高齢者福祉」、「障害者福祉」、「地域福祉」等の各福祉分野が連携することによって、包括的な相談や支援体制の充実、誰もがいきいきと暮らせるための「健康」と「生きがいづくり」の場の創出、介護者や家族の不安・負担の軽減、福祉やボランティアの人材育成の実現を図ることができる「複合施設」が効率的と考えます。

#### イ 子ども体験交流施設

これからの岩国市を支える子育て世代や子どもたちのために、成長段階に応じた遊びや学習の場の創出、交流や体験を通じた親子や子育て家庭同士のふれあいの場、母親のみに限らず、父親・祖父母等の子育て力を高める場の創出を図ることができる「複合施設」が効率的と考えます。

#### ウ 健康増進・自然交流施設

穏やかな瀬戸内海の眺望や、豊かな自然に恵まれた環境を活かし、多くの市民や米軍人やその家族等が癒しや安らぎを求めて寄り集う「交流」の場を創出し、誰もが気軽に運動や健康づくりなどに取組める「多目的な屋外施設」が有効と考えます。

また、それぞれの施設においては、活発な「交流」や「連携」を生む構成を取り入れ、様々なイベントや催し等を通じて、各分野の取り組みや活動の一層の充実を図るとともに、お互いに友情や絆が生まれるシンボリックな場所の創出を目指します。

### 施設構成の方針



### 【施設イメージ】

既存する類似施設から施設イメージを示します。

各施設は、その市町の施策や利用者のニーズにより整備されたものであり、あくまでも一例となります。

#### ◆ 福祉交流施設

静岡県 御殿場市 御殿場市民交流センター「ふじざくら」  
2008年開設 延床面積 約6,680㎡

施設概要	
地下	介護保険事務所、ホームヘルプステーション、デイサービス室など
1階	社会福祉協議会、シルバー人材センター、地域包括支援センター、喫茶・軽食コーナー、交流ホール、子ども家庭センター、子ども相談室、会議室、プレイルーム、遊戯体育室、子ども図書コーナーなど
2階	会議室 3部屋、研修室 3部屋、調理室、広間など



#### ◆ 子ども体験交流施設

香川県 高松市「高松市 こども未来館」

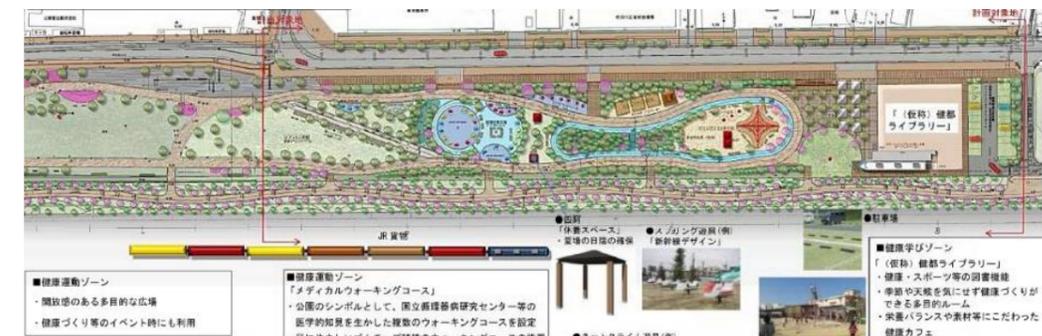
2016年開設 延床面積 約5,680㎡（6階男女共同参画センター除く）

施設概要	
1階	ふれあい・夢ひろば、多目的室、体験学習コーナー、事務室など
2階	児童図書館、一般閲覧室、市民情報コーナー、展示コーナーなど
3階	みんなのひろば、プレイルーム、食育広場、パパママカフェ、子育て相談コーナーなど
4階	科学展示室、昆虫標本展示室、科学実験ひろばなど
5階	プラネタリウム、展示コーナー、映像学習コーナーなど



#### ◆ 健康増進・自然交流施設

大阪府 吹田市「健康増進公園」



### 3. 土地利用計画の検討について

#### (1) 施設配置の基本方針

これまでに整理された自然条件やインフラ条件に基づき、4つの項目に配慮し施設配置の基本方針を定めます。

##### ●計画地の立地と地形

- 計画地は岩国市都市計画区域内で唯一の10ha近い一段の広さを持つ未利用地。
- 計画地は複数の区画が雛壇状に集まり、区画によって海への眺望に優れている場所。
- 最も広い区画は約3.8haの広さを有する。
- 計画地内は約12mの高低差があり、バリアフリー動線に配慮が必要。

##### ●道路ネットワークの構築

- 計画地周辺の現況道路は幅員が狭く急勾配の区間があり、新たな道路ネットワークの構築が必要。
- 国道188号やJR藤生駅方面からのアクセス方法が課題。
- 敷地内のみ接道している周辺宅地や、隣接する上水道加圧ポンプ施設やその管路敷との調整が必要。

##### ●周辺土地利用への配慮

- 敷地西側は住宅地に接しており、住民の生活環境に配慮した施設配置が必要。
- 黒磯県営住宅へのアプローチ道路との調整が必要。
- 周辺地域からも利用しやすいような動線計画や施設配置が必要。

##### ●法規制への対応

- 計画地は土石流警戒区域や急傾斜警戒区域に指定されており、災害に対する配慮が必要。
- 計画地の大部分は第一種中高層住宅専用地域であるため、ホールや運動施設などに建築制限がある。

#### — 施設配置の基本方針 —

- 海への眺望に優れた雛壇状の敷地形状を活かし、テラス（雛壇）状の造成と各施設が有機的に連携した施設配置を行う。
- 国道188号やJR藤生駅方面からのアクセス方法に考慮し、計画地内の高低差を造成やバリアフリー動線の整備によって処理するなど、拠点にふさわしい交通インフラのリニューアルを行う。
- 周辺地域の生活環境に配慮した、環境整備や施設配置を行う。